

## 研究概要

### 1. 研究名称 または課題名テーマ等

大腿骨近位部骨折後の骨粗鬆症治療実施有無による再骨折率の比較

### 2. 研究責任者(当院)

所属：薬剤科

氏名：鈴木 諒

共同研究の場合は代表機関 及び 代表者名

機関名：

代表名：

### 3. 分担研究者

所属：薬剤科<sup>1)</sup>、整形外科<sup>2)</sup>

氏名：岸田俊二<sup>2)</sup>、高山陽太<sup>1)</sup>、戸巻祥枝<sup>1)</sup>、原田萌衣<sup>1)</sup>、富田歩子<sup>1)</sup>

### 4. 研究対象者

当院にて 2015 年 8 月～2024 年 7 月までに大腿骨近位部骨折により入院し、1 年以上の経過観察が可能な患者

### 5. 研究の必要性

大腿骨近位部骨折は高齢者の予後に大きく影響し、再骨折予防が重要である。骨粗鬆症治療は再骨折抑制に有効とされるが、実臨床では治療実施率が低く、その効果の実態は十分に明らかでない。本研究は、骨折後の骨粗鬆症治療の有無による再骨折率の差を明らかにし、現状の二次予防体制の見直しに資することを目的とする。

### 6. 研究等によって生ずる個人への影響と医学上の貢献の予測

個人が特定されない情報で研究を行うため、個人に対する影響はないと考えている。本研究は、骨粗鬆症治療の再骨折予防効果を明らかにし、骨折後治療の標準化と再骨折予防体制の強化に貢献することが期待される。

### 7. 対象者、関係者等からの問合せ先(当院)

連絡先番号：4161

担当者氏名：鈴木 諒

対応時間：平日 8:30-17:00